

「1.『これからのコミュニティ施策の基本的考え方』に基づく多摩区における検討」に関すること

No.	意見・質問要旨	分類
1	良いことを書いてあるけどどうやって実現するのか。	フォーラム
2	何を目指しているのか。具体的に何をするか。枠組みがよくわからない (同趣旨ほか2件)	フォーラム
3	もっと団体の見学とか話を聞く機会を設けながら進めるべきである。	フォーラム
4	SDCは市民活動支援センターとどう違うのか。	フォーラム
5	川崎市は新しい公共施設は作らないとのことだが、どう整合性をとるのか。	フォーラム
6	SDCと市・区施設の関係性を明確化すべきである。	フォーラム
7	行政がフォローする部分と検討会で企画する部分の切り分けを明確にする必要がある。	フォーラム
8	市長の肝いりの「地域包括ケアシステム」と同じような施策になっていて、どの様に取り組んでいけばいいのか、市民は分からないのではないかと。施策推進の各局の横の連携を密に行うべきである。 (同趣旨ほか10件)	フォーラム10件、 意見募集1件
9	価値を創造することと、社会の劣化を防止することは相反するのではないかと。	フォーラム
10	多摩区には数多くのネットワーク活動団体がある。そのすべてを網羅した更なるネットワークになれば素晴らしい。	フォーラム
11	SDCの他希望のシナリオの具体的な計画はどうなっているか。	フォーラム
12	本市は、「個別支援の強化」と「地域力の向上」を図っているが、活動が広がっていない現状であり、コミュニティ施策として地域コミュニティの再構築・強化を図り、互助活動組成を支援することで「地域包括ケアシステム」の構築を支え、介護給付費の増加傾向に歯止めを図ることが急務	意見募集
13	今回、新たにSDCを導入する目的がわかりづらい。「これからのコミュニティ施策の基本的な考え方」における区域レベルの取組を推進するため「多摩区区域レベル取り組み検討会」を設置したとあるが、従来の「区民会議」「まちづくり協議会」の設置目的が明確であったのに対して今回の新しい施策は「何を目的としているのか」具体的でない。また、これまで12年間続けられた「区民会議」や「まちづくり協議会」等の活動を行政サイドでどのように評価して、何をさらに改善しようとしているのか明確に示してほしい。	意見募集
14	「希望のシナリオ」は、どの様に進めれば実現できるのか、という実現性の検討が不足している。市レベル以外は、各区に任せ、という方針となっており、結局、各区に対して、どの様に実現していくのかを検討するところから丸投げしているのと変わらないという印象だ。今回、多摩区のSDC開設案の検討は、「市民主導で」と言いながら、区役所が事務局として動いていた。ただ、議論の進め方は「市民任せ」とした結果、何をどの様に検討していけば良いかを分かっている人材がおらず、結局、開設に向けた検討にならなかった。開設案（中間とりまとめ）と言いながら、実際には、検討会に参加していた市民が、市民の立場で、SDCに欲しい機能を出し合い、それをまとめただけとなっており、良く言っても市場のニーズを整理したに過ぎない。	意見募集
15	多摩区だけの取り組みと考えがちだが、「希望のシナリオ」的なワークショップや取り組みは定期的に川崎で横断的に継続してほしい。川崎は多様性を中心にした考え方をしていても、多摩区自身は地元に着目し過ぎてる部分があり、ほかの区との交流もこれから盛んになってほしいと思う。多摩区はそれぞれのコミュニティが横断的に動いているように見えない時がある。	意見募集
16	今回、フォーラムを開催され、多くの方の話を聞けたのは非常に有意義であったと思うが、参加された方からは、全体像が分かるようにしないと、いきなりSDCと言われても何を話して良いか分からない、きれいにまとまっているように見えるが、このまま進んでよいのかこの先が心配、コミュニティ施策を考える上で、みまもり支援センターの人や、地域包括の人がいないのは何故？といった声があった。	意見募集
17	現状は、SDC立ち上げが目的になっている感が否めない。今はごく一部の人が会議室に集まって話をしている、本当に必要なことが見えていない。今、仮にSDCが立ち上がっても市民団体と繋がっていない、実施するにも材料（調査不足）がそろっていないので、ニーズに合った機能を実現するのは難しい。（＝まち協の反省点）	意見募集
18	今後の進め方について、今後もフォーラムのようなイベントを開催し、市が提案するコミュニティ施策の周知と共に、今後の多摩区のコミュニティ施策について区民が考えるきっかけ作りの場が必要だと思う。	意見募集
19	中間支援がミッションであるなら市民活動団体、自治体・町会等と繋がり、課題やニーズの調査を実施し、弱み強みを分析した上で、多摩区に必要とされる機能の優先順位をつけた方がよいと思う。	意見募集
20	焦らず、一度リセットしてコンサルを入れて、市民団体や町会・自治会と信頼、繋がりを築くと同時に調査・分析をすることからスタートした方が、遠回りかもしれないが後々のためには良い結果が生まれると思う。そのためにも役所内が繋がる必要があると思う。	意見募集
21	色々読んでみて、今回のSDCの企画は、いいと思うが、まずいところがある。検討委員の中に、特定の組織の者が多く入り込んでいる。これがまずいのは、特定の組織ごと設立メンバーになり、特定の目的で多数で仕切ろうとしていること。多摩区の住民以外が検討委員に入っている。これがまずいのは、特定の組織ごと設立のメンバーになり、特定の目的で仕切ろうとしていること。これを是正ください。他は大変結構と思います。これを除き市役所はよくやっていると思う。	意見募集

22	実際の運営について、スモールスタートで始めるという話が、当初よりしきりに言われているが、経営用語としてのスモールスタートとは、事業を始めるにあたって経営計画を綿密に行い、その結果として出てくる実行案の一つです。経営計画なくして、スモールもミドルもラージもありません。SDCを立ち上げるためにまずやるべきことは、次を可及的速やかに行うこととなります。① 運営組織の倫理規範の策定と規約概要の起草、② 運営に求められる志向と機能の確認、③ 運営の経営計画の立案、④ 運営組織の検討、⑤ 運営開始の時期・方法、各点を議する運営準備会議を行い、決定後に実行していくことになると思われます。	意見募集
----	--	------

## 「2.多摩区を取り巻く状況」に関すること

No.	意見・質問要旨	分類
1	緑・多摩川・梨・生田緑地の文化はPRになる。	フォーラム
2	多摩区の人口動向を考慮する必要がある。	フォーラム
3	父親を地域に出てもらおう仕組み（現状を知ってもらう）必要である。	フォーラム
4	多摩区の強み・弱みを分析する必要がある。	フォーラム
5	再開発の今が逆にチャンス。新たなことができるかもしれない。	フォーラム
6	区画整理が行われているが、区域内の商業地域内に単なるワンルームばかりになっている。	フォーラム
7	ミュージアムや緑地はとても有名だが、街の事は知らない人が多い。	フォーラム
8	多摩区を取り巻く現状を広く区民へ公開することが必要である。	フォーラム
9	多摩区の強み・魅力を生かす手段とは何か。	フォーラム
10	現在の多摩区において、何が一番問題視されているのか、最も改善すべき点が何か疑問である。	フォーラム
11	多摩区は生田緑地、多摩川等自然豊か、高齢化も一部進んでいる、登戸区画整理事業で商店街が変化している。	フォーラム
12	登戸・向ヶ丘遊園周辺の未来像が定まっていない。	フォーラム
13	多摩区のイメージが暗い。	フォーラム
14	「問題」「課題」の抽出・整理→「解決策」「目的」「手段」etcの検討の順で考えるべきである。	フォーラム
15	地域活動に参加しやすくする工夫が必要である。	フォーラム
16	少子化と高齢化をキーとした施策の展開が必要である。	フォーラム
17	市民活動は活発だが各々トンガリすぎてバラバラとなっている。	フォーラム
18	都内に勤務している人が市民活動に参加しにくい。	フォーラム
19	職住接近、地元の仕事作りで若い人が働ける地域になるとよい。	フォーラム
20	多摩区を取り巻く状況、開設理念、基本機能の中に障害者について記載されていない。	意見募集
21	都内に働きに出ている人が半数近くいて、夜に戻ってくる人口帯が多く住んでいる区であるので、夜に戻ってくる人たちの活用も考えてほしい。昼間、市民活動で活発な区であるだけに、夜間都内で働く人たちの知恵を取り入れることで町は活性化できると考える。人口が少ない中で夜間活動する人たちが、まちを好きになっていく過程を都心部だからこそその取り込み方ができればと思う。	意見募集
22	市民活動家たちは、「若い人が来ない」と嘆くことがあるが、本当にウェルカムなのであれば、今のような状況は生まれないし、どんな人でも受け入れられるSDCあってほしいと思う。多摩区は3大学を抱える区だが、地域住民には「まちづくりに興味ある大学生」だけをターゲットに絞っているように見えている。向ヶ丘遊園などでアルバイトしている大学生や下宿で住んでいる学生もいるはずで、そういう人たちにも気づいてもらえるようなまちづくりであってほしい。	意見募集
23	多摩区を取り巻く状況の中に障害者について記載されていない。	意見募集

## 「3.多摩区におけるSDCの開設理念」に関すること

No.	意見・質問要旨	分類
1	SDCの機能を明確化すべきである。	フォーラム
2	人と情報が自然に集まる場になるとよい。	フォーラム
3	色々ありすぎるとSDCの概念がぼやけてしまう。	フォーラム
4	新しいコミュニティをコーディネートする場所だと思う。	フォーラム
5	SDCの概念が人によって理解が違う。建物なのか機能なのか。 (同趣旨ほか2件)	フォーラム
6	子どもの幸せを第一に考える必要がある。	フォーラム
7	SDCの機能は将来地域の中でこそ必要なのではないか？	フォーラム
8	トータルの方が見えにくい。	フォーラム
9	多様な活動が目に見えるプラットフォーム必要である。	フォーラム

10	「理念」だと抽象的になってしまう。「目的」と「手段」の方がわかりやすい。	フォーラム
11	指標、達成目標を意識する必要がある（例：SDGsの17の目標、169のターゲット）。	フォーラム
12	理念は「みんな」に向けたものであること。	フォーラム
13	活動が行き詰まったりした時の相談、支援がしっかりできるようにする必要がある。	フォーラム
14	小さい子達のいるお母さん達が立ち寄れる場所になるとよい。	フォーラム
15	川崎都民にならないために、様々な世代が活動したいと思う地域になるとよい。	フォーラム
16	多摩区におけるSDC開設理念についてですが、その標語になっている「みんなが認め合い力を合わせて、みんなが幸せなまちをつくる」についてです。これは、数多く出た項目の最大公約数としてはいいのですが、抽象化しすぎて、逆に、無意味になっています。川崎市多摩区のオリジナリティが全く感じられません。石器時代からいつの時代の、地球上どの国地域でも成り立つ内容になってしまっています。もっと、世界で一つの多摩区の『独自性』が感じられる夢のある標語にすばきとされます。具体的には、その点『独自性』を重視して、再度で揉んで、提案していくべきと思われます。（同趣旨ほか1件）	フォーラム1件、意見募集1件
17	既存組織で解決できない諸問題を解決する。	フォーラム
18	多世代の交流があり元気なまちづくりを目指す。	フォーラム
19	社会問題解決モデルCityでイメージUPを図る。	フォーラム
20	緑保全団体のネットワークも多摩区の中心的活動である。	フォーラム
21	井戸端会議、きっかけづくりで知る、助け合う。	フォーラム
22	多摩区まちづくり協議会は、地域のつながりや地域コミュニティの大切さをテーマに地ケアに関する講座やワークショップを開催してきた。「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」では、地域包括ケアシステム推進ビジョンの取組をコミュニティ施策の視点から、相互補完的に充実させる位置づけであることと記載されていることなどからも、SDCの開設理念に「地域包括ケアシステム」のポイントである「自助」「共助」の必要性などについて加えてほしい。	意見募集
23	新たに何か箱物を作ることを想像している人が多いが、既存施設（学校・保育園施設）を再活用したり、売り込み方を変えコミュニティをつなぐ場所を複数拠点で考えてほしい。多摩区は地域も広く、登戸駅周辺、生田、中野島、宿河原などそれぞれに中間的なSDC（まちの広場など）があり、交流を図れるような運営も取り入れるべきと思う。	意見募集
24	子育て支援施設などが老朽化していて、子どもだけが入れる施設になりつつある。大人も入れるようなコワーキングスペースと合体したような設備だと子どもの学童保育的なことも一緒にできたり、子どもと大人の交流接点を持つことが可能になると思う。	意見募集
25	多摩区におけるSDCの開設理念に障害者について記載されていない。	意見募集

#### 「4.SDCの基本的機能と具体的な取組について」に関すること

##### (1) 多摩区を中心に活動しようとする土壌を創る

No.	意見・質問要旨	分類
1	多摩区内で活動している様々な団体個人を発掘する必要がある。（同趣旨ほか2件）	フォーラム
2	個人や団体が持っている特性を知る仕組みが必要である。（同趣旨ほか3件）	フォーラム
3	地域のたくさんあるNPOを把握、共有、連携を推進できる機能が必要である。（同趣旨ほか1件）	フォーラム
4	町内会・自治会を通して地域の人材を探すのがよいのではないかと。（同趣旨ほか1件）	フォーラム
5	具体的に今ある多摩区の既存市民活動団体を一覧にし、ネットワークをつくり、つづやき（各団体の困っている事等）として出してもらおうのがよい。	フォーラム
6	新たなボランティアなどで人々の関心を引きつけるのがよい。（同趣旨ほか1件）	フォーラム
7	何ができるかを考えるための集まりがあるとよい。（同趣旨ほか2件）	フォーラム
8	退職者の集まるサロンがあるとよい。	フォーラム
9	子育て中のママのスキルを収集・活用するとよい（お茶会やランチ会で）。	フォーラム
10	子・老・障・外、様々な人達共同のイベントがあるとよい。	フォーラム
11	人間関係づくりには、飲む・食べる・作るの3要素が不可欠ではないかと。	フォーラム

12	経験をかくさない形の“人材”リストが必要ではないか。	フォーラム
13	様々なスキルをもった人を人材バンクとして登録し必要なスキルを市民活動団体等に派遣するとよい。	フォーラム
14	同じ関心分野、志を持つ人をつなぐ（つなげる）人が重要である。	フォーラム
15	こどもミーティング（こどもの意見を収集する場）を開催するとよい。	フォーラム
16	大田まちづくりカフェのスライド最後から2頁目の図は「土壌」づくりの参考になるので文章で追加するとよい。	フォーラム
17	いこいの家をもっと必要。坂道多く、歩いて行けない。	フォーラム
18	大学他、若い人の参画、企業参画をどのように促すのか。 （同趣旨ほか2件）	フォーラム
19	地域住民へのPRが必要である。 （同趣旨ほか2件）	フォーラム
20	新たな事業企画について一定期間募集し、審査をSDCの中でして事業化までフォローするとよい。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
21	独自性を生み出す努力が必要、それが具体的に見つからないと近隣へ流れてしまう。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
22	たくさんの区民が参加しやすい、入りやすい場所づくり（オシャレな雰囲気とか）が必要。	フォーラム

## (2) 多摩区内で活動する人に必要なものを準備してマッチングする

No.	意見・質問要旨	分類
1	マッチングに際しては、公平性と透明性が重要である。	フォーラム
2	ヒト・モノ・カネのマッチングやコーディネートシステムは具体的にどう機能するのか。	フォーラム
3	多摩区内企業と人材をマッチングするとよい（子育て中のママ、シニア、時短）。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
4	活動をしたい人は多く、支援したい人も多いが、つながらない。コーディネートが不足している。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
5	育児期女性のジョブマッチング（プラットフォーム整備）をするとよい。	フォーラム
6	シニアが子育て世代を助ける活動があるとよい。	フォーラム
7	個人や団体が持っている特性を知る仕組みが必要である（ポータルサイト、人材バンク、リスト作成） （同趣旨ほか2件）	フォーラム
7	その他のアイデアで「助成金対応」とあるが、何をやる事業なのか。	フォーラム
8	様々な活動を進める為の資金をどの様に集めるかが大事である。	フォーラム
9	多摩区へのふるさと納税を活動団体へ分配するとよい。	フォーラム
10	すでに中間支援をやっている団体とつながり情報共有する必要がある。	フォーラム
11	地域との連携が必要である。	フォーラム
12	団体の交流会を開催するとよい。	フォーラム
13	障害事業所への技術提供があるとよい。	フォーラム
14	障害者事業所がもっている強みと地域のニーズをマッチングするとよい。	フォーラム
15	経験を自慢する機会があるとよい。	フォーラム
16	誰でも参加できるとよい（障がいの有無、LGBT等）。	フォーラム
17	ヒト、モノ、カネの他に「場（場所）」が必要である。 （同趣旨2件）	フォーラム
18	マッチングを長期的視点でマネジメントするならば、入れ替わるスタッフの「暗黙知」ではなく、ICTツールを団体として運用した方がよい。	フォーラム
19	企業に賛助会員になってもらうとよい。	フォーラム
20	食品廃棄物のリサイクルの仕組み（町角冷蔵庫）があるとよい。	フォーラム
21	学校（児童・生徒）への参加促進（中学校部活の制限）を働きかけるとよい。	フォーラム
22	まちのひろばの組織には、町内会・自治会の役割が重要である。	フォーラム
23	必要な人に必要な情報を届けてほしい。	フォーラム
24	多摩区まちづくり協議会では、毎年「まちカツ！」を開催し、市民活動団体の発表と交流の場を設け、広く区民に知ってもらうとともに、団体同士の交流が図られるなどの効果が現れている。市民活動団体の活性化を図るためには、活動発表や交流する場が必要であると考えており、SDCにおいても毎年「まちカツ！」のような区内の市民活動団体の活動発表、交流会を開催してほしい。	意見募集

25	ヒト、モノ、カネの提供者の情報収集を行い、マッチングやコーディネートするシステムを作る「あげます・くださいサイト」の運営、各団体が得意とする情報の発信、マッチングイベントの開催などは、SDGsを進めるのに、有効だと思う。	意見募集
----	--	------

### (3) 地域課題の解決を目指した社会実験の展開

No.	意見・質問要旨	分類
1	地域課題の調査をどのように実施するのか。 (同趣旨ほか2件)	フォーラム
2	優先的に取り組むべき課題をどのように決定・選出するのか。	フォーラム
3	困りごとのワンストップ相談窓口は必要（きちんと専門家につなげられる所）である。	フォーラム
4	問題のリサーチから始めるべきである。	フォーラム
5	悩みを気軽に話せる関係作りが必要である。	フォーラム
6	高齢者のみの世帯が増えると予想されるが生活相談、心の悩み等相談できる場が身近にほしい。	フォーラム
7	外国人の居住に関して、住居が決まるとすぐに情報提供できる場所がほしい（安心感を与えたい）。	フォーラム
8	登戸の町の未来がどうなっていくのか。住む人々が現状では見えにくい。	フォーラム
9	多摩区の弱みは何か。	フォーラム
10	弱みとして、坂が多いのは不便だが、坂にスポットを当てて名所にできないか（例：ピクニックタウン、長尾台のコミュニティバス）	フォーラム
11	町会・自治会との連携が必要である。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
12	町会の行方が心配である。	フォーラム
13	小中学校の子どもたちから地域の勉強をさせるべきである。	フォーラム
14	小学校登校前に朝食抜きの子供が多いという現実をどうするか。	フォーラム
15	まち全体を歩行者天国のようにした遊びや（道遊び）交流会を開催するとよい。	フォーラム
16	子どもが中心となる活動や取組（防災イベントなど）があるとよい。	フォーラム
17	子どもと老人の施設を融合（合体）できないか。	フォーラム
18	空き家を活用できる様な制度作りが必要である。 (同趣旨ほか4件)	フォーラム
19	川に囲まれているので、防災対策（水害など）に取り組む必要がある。	フォーラム
20	防災を視点としたネットワーク作りをするとうい。	フォーラム
21	社会人（会社勤め）の方を活動に巻き込む仕組みづくりが必要である。（例：push型情報発信） (同趣旨ほか1件)	フォーラム
22	若い人が町に関わりやすくなるようなイベントがあるとよい。	フォーラム
23	外国籍の人たち、障がいの人たちも参加できるバリアフリーな活動があるとよい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
24	不登校の子の居場所があるとよい。	フォーラム
25	ひきこもりの人たちも気軽に参加できる活動があるとよい。	フォーラム
26	おもしろいと思える活動が必要である。	フォーラム
27	三田地区にあるKCセンター（の活用）がうまく機能していないので、不満である。	フォーラム
28	全市的共通課題について、区外からのアプローチもできるようにすべきである。	フォーラム
29	小さく生んで大きく育てる取組方法を導入するとよい。	フォーラム
30	社会問題解決のモデルcityとしたい（例：食品ロス問題＝空き家・アパート、子ども食堂など）。	フォーラム
31	住みよいまちづくりを進めるためには、地域の人々が自分たちのまちの課題を発見し、解決につながる取組が生まれる仕組みが必要である。多摩区まちづくり協議会では、地域イベントに出展して「出張たまサロン」と称して地域の課題に関して簡単なアンケートを行ったり、「たまサロン」と称して、地域の課題を出し合い、意見交換する場を設けたりした。SDCの取組においても、地域の課題を吸い上げ、まちの新たな課題を発見し、解決する仕組みを作してほしい。	意見募集
32	多摩区まちづくり協議会では、メンバーが自ら地域の課題を見つけ出し、プロジェクトを立ち上げ、将来的には自立することを目的に自らその解決に当たってきた。多摩区の「磨けば光る多摩事業」は、地域課題の解決だけでなく市民活動団体の活性化にも有効であると考え、引き続き同事業のように、市民活動団体が感じている地域課題解決の提案をSDCが受け、それを支援する仕組みを作してほしい。	意見募集

33	多摩区まちづくり協議会では、中間支援的機能の拡充の一環として、「多摩★まちCafé（活動団体の情報発信並びに区民との交流の場）」や「多摩★まち大学（民学産公と連携したまちづくりに関する学びの場）」を開催し、区民のまちづくりへの意識の醸成やノウハウの共有を図ってきた。このような取組が地域課題の解決につながることから、今後も引き続き、「多摩★まちCafé」や「多摩★まち大学」のような取組を続けてほしい。	意見募集
----	---	------

#### (4) 地域課題への専門的支援

No.	意見・質問要旨	分類
1	専門家、技術者の集め方をどうするのか。	フォーラム
2	町内会・自治会とのマッチング方法をどうするのか。	フォーラム
3	どんな知識を求められるかによって、お手伝いできることもあると思う。	フォーラム
4	プロボノの活用と専門家からのアドバイザリングは、無料ボランティアで行うのか。	フォーラム
5	地域人材（プロボノワーカーなど）のバンクづくりには興味がある。	フォーラム
6	普段から地域間でのつながりを持つことが、「共助」力の強化につながる。	フォーラム
7	認知症の暮らしの困りごとに対応できる場所など、相談窓口の設置が必要である。	フォーラム
8	川崎に住む人の多摩区内での紹介やネットワーキング（土業とか）するとよい。	フォーラム
9	子育てへの支援が必要である。	フォーラム
10	常設プレーパークがあるとよい。現状、川崎の子が思いっきり遊べない。	
11	企業ともっと積極的にコラボし、つながるとよい。	フォーラム
12	活動地域とSDC拠点が離れていても、サービスを受用できるようにすべきである。	フォーラム
13	医療方面の相談窓口を充実（他との連携含む）するとよい。	フォーラム
14	3大学との先生と話し合うとよい。	フォーラム
15	市民団体の困りごと（資金問題 助成金の案内、申請事務の手助け）に対応できるとよい。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
16	任意団体は信用を得るのが難しい。行政の支援が必要である。	フォーラム
17	いろいろな団体を行政が紹介する手段を取ってほしい。	フォーラム
18	子育て世代が喜んで移住、住み続ける施策が必要である。	フォーラム
19	防災イベントの開催によって防災スキルを高める必要がある。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
20	専門的・技術的支援のできる地域人材（プロボノワーカーなど）バンクをつくり、各団体からの依頼に応じて紹介することは、積極的に行った方がいいと思う。	意見募集
21	専門的・技術的支援ができる地域人材は、多くないと思う。身近に少しだけなら手伝えるような人、知恵を持った人への協力などは、まだそういう層にアクセスできてないだけな気がする。プロボノでさえまだ知らない人が多く、プロボノに発展するような「まちの課題を解決できるような仕事化する」ことも考えていかなければならないと思う。	意見募集

#### (5) 地域で人を育てる仕組みをつくる

No.	意見・質問要旨	分類
1	人員・人材の発掘・開発について、この事業はこのような能力を持つ人がいない、少ない。	フォーラム
2	社会に貢献する人材をどう育てるのか。	フォーラム
3	人材育成には、行政・社協・小中高での講習会の開催が考えられる。	フォーラム
4	人材育成の場が少ない。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
5	専門家のボランティアをベースにしたメンターシステムをつくるのがよい。	フォーラム
6	事務方の人材と現場方の人材の育成が必要である。	フォーラム
7	地域の小中高などの学生、若者が地域で活動していないことが課題。ボランティア等のマッチングが必要である。	フォーラム
8	地域と複数学校間のイベントコーディネートを行うとよい（消防や警察も）。	フォーラム
9	大学生が地域にインターンというのは多いが、市民がもっと大学で学べる場（地域について）があってもよい。	フォーラム
10	大学の中に地域の環境、農業について学ぶサステナビリティ講座があると市民との連携ができると思う。	フォーラム
11	若い人材の計画的育成や地域に住む大学生の活用を図るとよい（チャンスは高3生）。	フォーラム
12	子ども、学校と連携したSDC活動（例：学校訪問）を行うとよい。	フォーラム
13	高校での町とのつながりが深いと感じる 小中学校・大学のように、ボランティアのようなものを高校生にもっと依頼してもよいのではないか。	フォーラム
14	地域の大切な公共施設「学校」の位置付けはどうか。	フォーラム

15	市民団体の困りごとは高齢化。若い人の人材育成が必要である。	フォーラム
16	社会人教育への一般人の参加が必要である。	フォーラム
17	農業体験を行うとよい。	フォーラム
18	様々な方々（障害、海外ルーツ他多様な方々）をが住んでいることを住民として知る、支え合える場をつくる必要がある。	フォーラム
19	子どもが楽しく参加できる活動があるとよい。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
20	若い世代が地域の活動に興味を持てる取組が必要である。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
21	子どもと高齢者の交流の場を作ることが必要である。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
22	20代、30代、40代が活動出来る場があるとよい。	フォーラム
23	取組のアイデアとして、お父さん向けのキャンパススキル講座が考えられる。	フォーラム
24	ハンディキャップのある方の支援が必要である。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
25	新たに取り組み事業を区民へ発信する機能や紹介する機能が必要である。	フォーラム
26	年齢やライフステージに応じた、地域で活動するための人材養成塾の開講と運営は、例えば、民生委員児童委員のなり手がなかなか見つからずに困るということを解決することにも役立つと思うが、それ以前の問題解決に役立つかもしれないという期待がある。何らかの理由で就労できずに、もしくは、何らかの理由で一度は就労したのだが一度離職して、そのあとずっと再就職できずに40代50代になってしまったという人でも、自分の生きるための方法を見つける手助けができるかもしれないと思う。そのためには、例えば、「だいjobセンター」のようなところを多摩区にも開設・運営していただけたらと思う。	意見募集

#### (6) 「まちのひろば」への支援

No.	意見・質問要旨	分類
1	地域にふらっと参加できるような“場”があるとよい。	フォーラム
2	スペースの調査、情報収集・整理をどのように行うのか。	フォーラム
3	地域交流の場所はたくさんあるが有効に活用されていない。	フォーラム
4	高齢者が居場所にいるカフェと子ども・子育て世代が場所を共有するとよい（「よい」ごちゃごちゃ感）。	フォーラム
5	ネットワーク環境が整備されたコワーキングスペースとして開放される施設があるとよい。	フォーラム
6	サテライトオフィスとしての利用できる場所があるとよい。	フォーラム
7	長生きするのが楽しくなるよう、色々相談できる場所があるとよい。	フォーラム
8	区役所や料理室、コミュニティスペースなどを活用し、「自炊力」の向上として手軽に料理をできる場が増えるよい（特に男性）。	フォーラム
9	外国人が気軽に集まる場所があるとよい。	フォーラム
10	子どもを遊ばせながら大人が話をできる場所があるとよい。	フォーラム
11	大きな場に入りにくい。ニーズに合ったたくさんの方々の場づくりが行われるとよい。	フォーラム
12	コンビニ、ミニスーパー、個人商店等の活用も考えられるのではないかな。	フォーラム
13	まちのひろばとしては、公園や移動図書館が考えられる。	フォーラム
14	無料で休める場所がほしい（コミュニティ的）。	フォーラム
15	地域に集まる場所が欲しい（民生委員活動、会食会など）。 （同趣旨ほか2件）	フォーラム
16	気軽に使える地域施設が多摩区にはない。	フォーラム
17	就職活動についてなど、地域に住んでいる様々な職種の方と意見を交換する場が欲しい。	フォーラム
18	不動産屋の情報提供と発信があるとよい。	フォーラム
19	多摩区の地域公共施設の偏在を解消できるか。	フォーラム
20	登戸、向ヶ丘遊園周辺は区画整理事業を展開しているが「フツウの公園」ができ現状面白くない。有益な“まちひろば”になってほしい。	フォーラム
21	区画整理によりできた空き地の活用（期間限定にはなるが有効活用）が考えられる。	フォーラム
22	管理運営協議会に権限を移譲し、自主管理による公園の活用促進を図るのがよい。	フォーラム
23	各分野のノウハウの育成（支援・学びの場）	フォーラム
24	行政・地域包括支援センターの応援でカフェを開催するとよい（高齢者の話し相手）。	フォーラム
25	人・資金・場所にみんな苦労している。	フォーラム

26	小さな単位のカフェへの支援が必要である。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
27	公的な場所を使うことができるとよい。 (同趣旨ほか2件)	フォーラム
28	町内会等ですでに行われているイベントや事業と調整するのか。	フォーラム
29	生活支援分野を担うまちのひろばを構築する必要がある。	フォーラム
30	「まちのひろば」になりうる場所はすでにあちこちにある。人手や運用の考え方が問題である。	フォーラム
31	若い人が参加しやすい、活用してみたいという雰囲気が必要である。	フォーラム
32	世代間の交流が出来る場があるとよい。	フォーラム
33	「まちのひろば」に集える人は問題なく、家庭にこもりがちの人達がいかに楽しんで来られるかを考える必要がある。	フォーラム
34	「まちのひろば」への参加者には偏りがある。これをどうするかが問題である。	フォーラム
35	「まちのひろば」はSDCで把握して一覧化するのか。	フォーラム
36	私達の地域で一人暮らしの高齢者が多く、話し相手はテレビだけという現実をどうしたらよいか。	フォーラム
37	地域の環境に合わせたまちのひろばが必要である。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
38	各地域においてコミュニティの再構築・強化を図り、支え合いの互助活動の組成を支援する場として「まちのひろば」が拠点となり、区内に多く組成されることが必要。「まちのひろば」を拠点に介護予防活動を行うことで、長野県御代田町の取組を参考に、介護認定率の低下、介護度の重度化を防止することに繋げる。	意見募集
39	「まちのひろば」への支援強化が必要。人口1000人に1ヶ所必要という説があり、この説に基づくと、多摩区の場合、200ヶ所程度必要となる。公的な施設・自治会会館・町会館等の有効活用が望まれる。	意見募集
40	SDCそのものというより、多摩区の登戸宿河原周辺についての、住民の希望の一つとして、宿河原小学校区の児童の自由に遊べるスペース（ボール遊びのできる公園など）が無いということで、それをどこかに設置してもらえたらという希望が、私の知っている範囲内でも6～7年以上前からある。	意見募集
41	ほかの区では盛んにコミュニティカフェなどの取り組みをされているが、多摩区は「ケアカフェ」というすこし普段の生活からは離れたようなイメージを持たれているかもしれない。多摩区は、川崎の中でも自然も多く、クリエイティブな層も在住している割には働く場所や企業につながるイメージがそれほどない。地元の人が協力するようなスペースが出来ていくと嬉しい。多摩区にそういう場所ができるという人々と交流も盛んになると思う。	意見募集

#### (7) みんなに届く情報発信

No.	意見・質問要旨	分類
1	情報発信について、SNSを活用して、区民に届きやすいようにしてほしい。	フォーラム
2	広報の支援をしてほしい。SDCに使いやすいチラシギャラリー的な機能があるとよい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
3	「団体登録」「閲覧板」など、これまでのものはハードルが高い。	フォーラム
4	SNS等は高齢者にも有効なのか。	フォーラム
5	サイト・ホームページは誰が作り、誰が運営するのか。	フォーラム
6	多くの区民に届くには、まちの情報誌はよい。	フォーラム
7	区のウェブサイト内にSDCの特設ページを作り、毎週更新するとよい。	フォーラム
8	多摩区に特化した情報ポータルサイトの構築・運営について説明があるとよい。	フォーラム
9	他地区の活動情報を共有できる仕組みがあるとよい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
10	SDCが持っている情報を発信すべきである。	フォーラム
11	多摩区イベント情報を集中的に管理し発信するとよい。	フォーラム
12	多摩区の地域情報を発信するFM局やラジオ局がほしい。	フォーラム
13	多摩区のまつりマップづくりをするのがよい。	フォーラム
14	情報発信の手法として誰でも理解できる内容としてほしい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
15	地域課題の解決に向けて活動しようとする人に場所と情報発信の支援をすれば、とりあえずスタートできる。	フォーラム
16	バラバラな情報のとりまとめを進めた方がよい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
17	今よりもっと情報発信して、幅広い世代に情報を届ける必要がある。 (同趣旨ほか2件)	フォーラム



18	多摩区を小田急線を境にして区域ごとに活動情報を知ることができるようにするとよい。	フォーラム
19	名称にこだわりすぎ（例：SDSとSDC）。住民に説明が難しい。	フォーラム
20	区役所は高くて目立つのでプロジェクションマッピングを行うことができないか。ドラえもんを使うことで外国人客を集めることができる。	フォーラム
21	多摩区まちづくり協議会の存在・活動を区民に広く知ってもらうことは長年の課題であった。今回のSDC立ち上げに関しても、まちに住む多世代の方々が希望のシナリオの取組に参加しないと実現しないと考えられるため、SDC自体やその取組、希望のシナリオを多くの区民に知ってもらえるよう、適切な広報・周知活動の仕組み作りをしっかりとやってほしい。	意見募集
22	ほかの区に比べ、FacebookやSNSを利用した発信が少なく、市民活動している方々の発信を、意図的に探しに行かないと知れないことが多い。	意見募集

### (8) 多摩区内の人と人とを結ぶ

No.	意見・質問要旨	分類
1	おもしろいことをやる。おもしろくないと来ない。	フォーラム
2	イベント・カフェ・食堂は誰が企画し、誰が運営するのですか？	フォーラム
3	交流企画イベントが欲しい (同趣旨ほか1件)	フォーラム
4	地域間をつなぐコミュニティバスが必要である。 (同趣旨ほか2件)	フォーラム
5	商店街の活用、商店とのコミュニケーションがあるとよい。	フォーラム
6	たき火ができると人が集える。	フォーラム
7	今日みたいなフォーラムや現場視察の機会があるとよい。	フォーラム
8	核家族化が進む中、世代間交流の場づくりが必要である。 (同趣旨ほか4件)	フォーラム
9	駅前にみんなで集まれる場所があるとよい。	フォーラム
10	親子がいつでもいれる場所があるとよい。	フォーラム
11	高齢者が集える場所があるとよい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
12	福祉団体のネットワークはあるが他のネットワークとの連携がない。	フォーラム
13	創造、アートと他分野（福祉、エコ等）とのコラボで、なかなかつながらない人をつなぐ場をつくとよい。	フォーラム
14	活動の発表の場があるとよい。	フォーラム
15	通勤・通学など地域に住んでいない人をどう巻き込むのか。	フォーラム
16	他分野の活動・人との「ナナメ」の交流で生まれる活動がほしい。	フォーラム
17	産・官・学・民とのつながりの構築が必要 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
18	子ども食堂等のイベントなど、今あるイベントを知ってもらうとよい。	フォーラム
19	貸本配達ネットワークや、読み聞かせ派遣などを行うとよい。	フォーラム

### (9) 多摩区の地域特性を活かした取組

No.	意見・質問要旨	分類
1	向ヶ丘遊園跡地にこども達からシニアまでのあそび場を運営する。 (同趣旨ほか2件)	フォーラム
2	生田緑地、向ヶ丘遊園跡地、藤子・F・不二雄ミュージアム、三大学を活用するとよい。 (同趣旨ほか3件)	フォーラム
3	生田緑地から駅までの人力車・馬車を運行する。	フォーラム
4	岡本太郎美術館を中心としたアートイベント（過去にもあるが）を開催するとよい。	フォーラム
5	多摩区は地域的に若い人達が多く住んで居る（若者が活躍できる観点）。	フォーラム
6	大学生の街コンを開催するとよい。	フォーラム
7	明治大学・平和博物館と連携できないか。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
8	地域資源として「登戸の渡し」を活用するのがよい。	フォーラム
9	多摩川を遊びながらきれいにし、愛する心を育む。	フォーラム

10	多摩の自然特性を結びつける取組が欲しい。各箇所が独立しすぎている。	フォーラム
11	川崎市、多摩区のオリジナリティが重要である。	フォーラム
12	地域特性を活かすための資源をどのように洗い出すのか。	フォーラム
13	地域ブランディングが必要である。	フォーラム
14	市民館・図書館・美術館との連携で各々の活動への協力を行う。	フォーラム
15	多摩区おもてなし隊を結成するとよい。	フォーラム
16	全国発信の多摩区観光ツアーを開催するとよい。	フォーラム
17	有名キャラクターとコラボしたイベント開催PRなどを行うとよい。	フォーラム
18	マルシェなどによる農作物の販売を行うとよい。	フォーラム
19	福祉教育や体験を行うとよい。	フォーラム
20	災害時井戸水を供給する家を活用できないか。	フォーラム

**(1) ～ (9) 以外に関すること**

No.	意見・質問要旨	分類
1	いろいろな活動のアイデアが書かれているが、どの様に優先順位を付けて取り組むのか。	フォーラム
2	広く参加者を集める手段をもう少し考えたほうがよい。	フォーラム
3	大森まちづくりカフェ設立までの苦労話も少々お聞きしたかった。	フォーラム
4	ゲストスピーチの目的がわかりづらかった。	フォーラム
5	総花的よりしぼってスモールスタートで。	フォーラム
6	活動と改善効果のみえる化が欲しい（効果、金額等）。	フォーラム
7	オープンな議論や運営にすべきである。	フォーラム
8	希望のシナリオの実現性は。資金はあるのか。	フォーラム
9	コミュニティビジネスはどうか。	フォーラム
10	最終的に、市民がSDCを運営すると聞いたが、全てボランティアで運営するのか。	フォーラム
11	自治会、子ども会、商店会それぞれの連携はどうするのか。SDCの課題ではないか。	フォーラム
12	交通不便地区の課題解決（交通インフラの整備等）に取り組んでほしい。	フォーラム
13	駐車場や安く泊められる所。双子、3つ子が増えている。	フォーラム
14	生田中学創作活動センターを活用するのがよい。	フォーラム
15	多摩区での働く場所を開拓してほしい。	フォーラム
16	「希望のシナリオ」の課題と多摩区の地域で抱える課題を層別して優先順位を付けてほしい。地域の現実の課題解決なくして「希望のシナリオ」の実現は不可能	意見募集
17	住みやすい地域づくりのためには、地域活動テーマと行政施策の連動が必要。地域課題解決は地域活動が原点である。行政の施策と連動した一貫性のある課題解決活動が必要であるが、現状は、必ずしも行政の施策と地域の課題改善活動と連動しているとは言えない。市民活動への関心は、低調である。	意見募集
18	SDCの基本的機能と具体的な取組の中に障害者について記載されていない。	意見募集

**「5.開設場所」に関すること**

No.	意見・質問要旨	分類
1	せきれい跡地の広さは適切なのか。 （同趣旨ほか2件）	フォーラム
2	せきれい跡地でもよい。ただし交通の便が悪い。 （同趣旨ほか2件）	フォーラム
3	せきれい跡地はせまいが便利である。	フォーラム
4	最終的にはより広い場所、オープンな形がよい。 （同趣旨ほか3件）	フォーラム
5	人の動線、人のあつまる場所がよい。	フォーラム
6	将来的には生田上水場跡地なども含めて広く候補地を検討すべきである。	フォーラム
7	市住宅会社の大きな空室（事故住宅）も考えられる。	フォーラム
8	駅に近い方がよい。 （同趣旨ほか2件）	フォーラム

9	廃校など遊休施設を活用できないか。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
10	商店街の中がよい。	フォーラム
11	生田緑地の一部を活用できないか。	フォーラム
12	地域で興味ある人に呼びかけてみてはどうか。	フォーラム
13	SDCは1ヶ所にとどめない。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
14	サテライトがあってもよいのではないか。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
15	事務所は1つでも活動の場は複数あっても良いのではないか。既存のこ文、いこいの家など分室をつくる。	フォーラム
16	場所はなくてよい。毎回違ってよい。	フォーラム
17	生田中学創作活動センターをもっと活用したい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
18	横浜市都筑区の北山田中学校のコミュニティーセンターをモデルにするとよい。	フォーラム
19	区画整理の土地にSDCを設置することも考えられるのではないか。	フォーラム
20	休憩できる場所がほしい。	フォーラム
21	「せきれい」の後のスペースか、アトリウムの一部に、自由に老若男女が憩えるスペースを作り、たまにはイベントなども行い、気軽に声を掛け合える関係を作ったらよい	意見募集

#### 「6.運営についての考え方」に関すること

No.	意見・質問要旨	分類
1	中・高・大学生にどのように関わってもらおうのか。 (同趣旨ほか2件)	フォーラム
2	人が集まるためにどうしたらよいか。	フォーラム
3	不景気の中、退職者をどうひきつけて活動してもらおうかがカギだと思う。	フォーラム
4	コミュニティ横断する人が必要である。	フォーラム
5	運営団体としては事業ごとにその分野に詳しく、志のある方が理事として推進すべきである。	フォーラム
6	「市民主体」の市民をどうやって選ぶのか。 (同趣旨ほか3件)	フォーラム
7	若者、子育て、シニア世代、ハンディキャップのある方など幅広い方で運営するとよい。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
8	みんながファシリテーターになる研修システムが必要である。	フォーラム
9	分野ごとの協力が必要である。	フォーラム
10	検討会のメンバーが必要な能力も顧みず、運営をいきなりしたいというのはおかしい。	フォーラム
11	SDCの検討会は年齢層高い。若い人が入らなければ分断する。	フォーラム
12	これまでの市民活動の蓄積や成果は尊重しつつも、特定の人たちが優遇されるような形は避けるべきだと思う。	フォーラム
13	運営方法として、ヒト・モノ・カネを稼いでくる部門と分配を決めるをキッチリ分ける必要がある（税金のお手盛りにならないように）。	フォーラム
14	分配を決めるのは運営スタッフでなく、第三者にまかせる必要がある。また、規則をつくる必要がある。	フォーラム
15	SDCに関わる人達が少しずつでも収入を得られる事業展開を。	フォーラム
16	きっちりとした経営計画があるから小さな出発になる。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
17	人、モノ、金がないと団体が活動できない。良いものも続かない。 (同趣旨ほか7件)	フォーラム
18	フリーペーパーの広告収入を得られないか。	フォーラム
19	休眠預金活用の必要性はどうか。	フォーラム
20	地域通貨を活用できないか。	フォーラム
21	行政やNPO法人など既存の団体の一部として運営する。	フォーラム
22	運営スタッフは、はじめは無給でも有給にしていかないと続かない。	フォーラム
23	運営組織の機能がはっきりしていないのに、その形態（NPOとか）が議論されるのはおかしい。	フォーラム
24	運営組織のほかにもらう側は賛助会員などになっていたが、その意見を反映するとよい。	フォーラム

25	いずれ法人化目指すとしてもまずは「柔軟さ」を第一に考える必要がある。	フォーラム
26	自主・自立の市民主体の運営の定義（ゴール）が少しあいまいに感じる。 （同趣旨ほか2件）	フォーラム
27	いつ止めるか、サンセット方式で区切りをつくっておく必要がある。	フォーラム
28	開設場所にはスタッフとして誰がいるのか。区役所職員はどのような立ち位置なのか。	フォーラム
29	空き家、空き地利用にはオーナーと利用者間の行政のコーディネートが必要である。	フォーラム
30	各団体の連携があると、お互いに活動が広がるので、連携がもてるようにするとよい。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
31	SDCは情報の取りまとめに特化するとよい。	フォーラム
32	集まらなくてもディスカス、意思決定できるシステム（MURALボード等（ネット会議））を設けるとよい。	フォーラム
33	信頼できるリーダーが皆の意見を拾いあげる運営が望ましい。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
34	時間軸を入れた事業運営が必要である。	フォーラム
35	行政施策をリードする活動をしてほしい。	フォーラム
36	多摩区内で実績のある団体に支援してほしい。	フォーラム
37	一部に偏らないように運営はコンソーシアムで。	フォーラム
38	インターネットやSNSで見える化する活動を行ってほしい。	フォーラム
39	会話を大切にしながら熟議を重ねてよりよいものを練り上げていくとよい。 （同趣旨ほか1件）	フォーラム
40	運営規則の作成が必要である。	フォーラム
41	運営する箱が必要である。	フォーラム
42	SDCが多摩区に1つだとしたら、区民みんなに届くためにしっかりとした組織にならないといけない。（運営費予算必要）	フォーラム
43	運営主体は企業からの寄付金や会員管理も考慮し、法人格で運営する方がよい。	フォーラム
44	独自予算、責任と権限、交渉力が必要である。	フォーラム
45	新たなNPO法人を設立し、SDCの運営にあたるのが適切。既存の団体では、マンパワーの制約もあり、兼務ではSDCの目的を達成することは難しいことから、SDCの活動に特化した組織が望まれる。また、NPOの認証には市が関わることになり、NPOの事業活動及び決算状況について、市としてもその活動内容の把握が可能となる。	意見募集
46	多摩区まちづくり協議会の課題として、委員やメンバー全員が完全なボランティアだったことから、活動の展開や広がり に限界があったことが課題と考える。このため、SDCについては、効果的で持続可能な取組を行うためにスタッフは専任であるべきである。また、ボランティアをお願いする場合にも有償であることが望ましい。	意見募集
47	SDCが区民から信頼されるためには、中立的な立場であることや公益性があること、また、決定のプロセスや会計などの透明性があることが必要である。このため、定期的に区民からチェックや評価を受ける仕組みを作してほしい。	意見募集
48	毎年開催される「まちカツ！」では、参加団体の発表と交流の他に、多摩区まちづくり自身を広く区民や区内の市民活動団体に知ってもらうため、1年間の活動を発表した。このため、SDCも広く区民や区内の市民活動団体に知ってもらうために毎年「まちカツ！」のようなイベントを開催することが必要であると考えます。	意見募集
49	活動体制の見直しについて。行政（組織）と市民（個人）の中間機能として町会・自治会（地域機能）を加えてほしい。地道に活動する「町会・自治会組織」とも連携しつつ地域の課題に対する活動の環を広げる必要がある。町内会には優秀な人材が多い。	意見募集
50	委員の人選について。組織推薦、一般公募者等頭数は充足されても、具体的な活動までつながる人は少ない。また、考え方の幅が広く異なり、結論が出ない。地域の実情に詳しい実務家が少ない。また、女性の参画を強化してほしい。	意見募集
51	活動テーマの絞り込み、委員会一任では困る。行政が参画して、ある程度優先順位を決めてほしい。テーマ別の解決活動と地域に定着する仕組み作り。	意見募集
52	活動資金について、地域活動助成金の交付形態をとる。具体的なテーマに対して、参加者を公募する。活動助成金を交付する。「かわさき市民活動センター」に集中している助成金を、地域分散型にして多摩区のボランティア活動助成金とする。（地域活動のための資金支援）	意見募集
53	本当に市民主導で、収支も成り立つような自立した組織を目指すのであれば、ボランティア活動している様な人材を、無責任な立場で集めても意味はなく、ビジネスセンスのある起業経験のある様な人材が、理事として自らの責任において事業計画を立案する必要があるだろう。例えば、起業アイデア／ビジネスプランのコンペを開いて、優秀な企画書を作った人に団体立ち上げを担って貰う、等の方法をとるしかないのではないだろうか。	意見募集

54	自立した団体の設立を目指すのであれば、1つの団体にすべての機能を実現するのは難しいだろう。いきなり、独立採算の複数の事業本部制を導入する大企業をゼロから起業する様なイメージだ。組織運営が複雑となるため、まずは単独事業から始めて事業内容を増やしていくか、別々の団体として並行して立ち上げるかを検討すべきだろう。検討会にて指定管理者制度に基づいて運営されているものを事例として扱っている人がいたが、自立した団体設立という観点では参考にならないのだが、その違いが分かっているのかも怪しい。大森まちづくりカフェのご講演を聞いても、最初からビジネスを強く意識して団体を立ち上げて活動していかないと収支を成り立たせるのは難しいことが分かる。	意見募集
55	「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」には、コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）の制度が重要な役割を果たすので、多摩区において制度化して設置し、活用するようにお願いしたい。	意見募集
56	SDCを持続するためには、人材は多いほうがいいかもしれないが、一般の人たちの社会の役に立ちたいという認識が、もっと強くなっていかないと、人材の確保は、難しいかもしれないと思う面もある。いろいろなことに関わり、少しずつ地域のことやいろいろな人の事情を知り、地域全体でいい方向に進んでいけるような関係を作っていく、と思える人が圧倒的に増えれば、人材の確保は、今よりはできやすくなるのではと思う。人々の「最低限、自分の家の中が無事であればそれでいいのだ」という意識を「自分の家のことは大事だが、少しのお手伝いで誰かを助けてあげられるなら手伝ってもいいですよ」という風に変えていけると、社会は変わっていくかもしれないと思う。その意識を変えていける方法も考えられたいと思う。一般の方々が高齢化が急速に進んでいるという意識はあるのか。そのあたりも人々の、社会の役に立てるようになりたいという意識を変えていく材料になるかもしれないと思うが。	意見募集

### 「7.今後の検討の進め方」に関すること

No.	意見・質問要旨	分類
1	「区民が自主的につくっていく」という視点が大切。多くの区民が関わられるように進めるべきである。	フォーラム
2	最終目標（ムーンショット）がパンフの内容ならそこまでの中期計画（10年？）	フォーラム
3	いつまでに何をというアウトプットイメージはどうなっているのか。	フォーラム
4	「ありたい姿」を多くの人が共有し、それを実現するための道筋を描く必要がある。	フォーラム
5	施策の優先順位づけはどうなっているか。	フォーラム
6	多摩区の具体的な課題、ニーズ調査のためにフォーラムや現場視察を行う必要がある。	フォーラム
7	これから作っていくというよりも、すでに活動しているものを集約していくということでもいいと思う。	フォーラム
8	まずはやってみて、小さな積み重ねから大きなパワーにつなげていく。1つモデル事業を決めて、検討する中からノウハウを蓄積するのがよい。	フォーラム
9	利害関係を考えずにまずは話し合いが必要である。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
10	まちにどんなものがあつたらよいか、自分のまちの好きなことなど、学校と協力してもらってアンケートを行い、若者、子どもの意見を聞くことよい。	フォーラム
11	ゼロからではなく、既にある取組や成果の上にデザインしていく発想が必要である。 (同趣旨ほか1件)	フォーラム
12	既存にあるシステム、仕組みとの関係がわかると嬉しい（例：別物なのか、補充するものか）。	フォーラム
13	地域特性の「切り口（＝資源）」は何か。地域資源の洗い出しと把握から構えることが大切である。	フォーラム
14	コーディネート機能と、そうした人材育成のための機会が必要だと思う。	フォーラム
15	まちづくりに関心のある住民にSDCの考え方、基本方針をどれだけ理解を広げることが重要かと考える。	フォーラム
16	地域包括ケアシステムの一環としてSDCと社協、地域振興課との関係はどうなっているか。	フォーラム
17	自治会・町内会への支援機能はSDCにどのように持つのか。	フォーラム
18	まちづくり協議会がなくなってSDCができると聞いたが、移行はどうなるのか。	フォーラム
19	SDCの年間予算はどの程度か。活動内容、スタッフ体制などに影響する。	フォーラム
20	区のサポートは中長期的に必要な不可欠である。	フォーラム
21	SDCと行政の距離感は「緊張感」が必要である。	フォーラム
22	特に多摩区では、「みんなで考えよう」感がなく、だれか代表者が集まって会議して決まってく感じが非常に強く、SDCの開設に関して、もっと広くいろんな人に問いかけることがあってもいいのではないか。このままいくと、おそらく住んでいる住民からは、「知らないうちにSDCというものが出来上がった」→「自分とは関係ない」にならないようにしてほしいと思う。	意見募集
23	運営について考える上で、① 組織に求められる機能、② 組織のあり方、③ 必要とされる運営スタッフの能力を、まず検討すべきであると思われます。順番はあくまで①が先で、組織がどうあるべきかは、求められる機能により異なってくるからです。機能ははっきりしないうちに、NPO、公益財団法人、任意団体とか、コンソーシアムがいいとかは決められません。ですから、①組織に求められる機能をまず確定させて、次に②と③が決まってくることになります。そして、③必要とされる運営スタッフの能力が決まってから、初めて誰にやらせるかということになります。	意見募集

その他コミュニティ施策に関すること

No.	意見・質問要旨	分類
1	各中学校単位でコミュニティーセンターを創る。	フォーラム
2	多摩区にはSDCより前に行政がやらなければならないことがある。川崎市のコミュニティ施策の基本的考え方とあるが、頭の中で考えた空想のイメージばかりで、現実の川崎市内の市民活動、地域活動の現状や住民の願いや中高年市民の地域課題を反映していないのではないかと。希望のシナリオに、人が集まり・学ぶ場である住民が最も身近に利用できる公民館施設（市民館）や学校施設の言及もなく、最も身近な居場所である公共コミュニティ施設の役割を無視し落としているのは残念である。	意見募集
3	川崎市全体のコミュニティ施策の新構想・計画を考えるならば、これまで戦後50年以上も地域で日常生活に即して、住民が自発的に実施してきたコミュニティ活動、学習活動、住民自治活動の活動実績、歴史をまずどう理解して評価するのか、否定するのか議論し新たな施策のデッサン論議を始めなければならないのが順序と思うが、市コミュニティ施策の学識・研究者の議論を見ても、生涯学習施策の検証やコミュニティ施策の評価は全く行われているようには見えない。	意見募集
4	多摩区の地域で市民が困っている地域課題とは第1に地域活動をするにも活動場所が身近にないという場の不足の問題が共通して存在するにも関わらず、川崎市のコミュニティ行政の対応は地域住民の要望を無視するか教育行政の問題に矮小化しているようで、市民の自己責任で民間の場所をさがしないとタカをくくっているようだ。生田出張所建替え時に分館併設という好機をつぶしてしまった市であったのが残念。予算がない金がないなどといわずに住民の要望している身近で、使いやすい生きがいの持てる居場所、生涯学習、コミュニティ機能のある公共施設を土地を探してでも旧出張所単位に学びのできる場所を確保すべきではないか。	意見募集